會ノ席上デ御話シ申シ上ゲタトコロ、同席ノ久内清孝先生トトモニ或ハ他品トノ間違ヒデハアルマイカト色々御指導下サツタノデ、本田博士ニ標品ノ鑑定ヲ御願ヒ致シマシタ結果ヤハリあづまつめくさデアツタ。誌上ナガラ牧野先生、久内先生ニ御禮申シ上ゲマス。

（酒井忠壽）

○やくしまねつたいらんノ分布ソノ他

やくしまねつたいらん (*Tropidia nipponica* Masamune) ハ正宗嚴敬氏ガ植物學雜誌第43巻249頁デ屋久島ノ特產トシテ發表サレタ種類デアル。其後同氏ハ產地トシテ薩摩海門岳ト四國トヲ擧ゲラレタ。從ツテ分布範圍モ相當ニ擴大サレテ今更コヽニ追加スル要モナイ樣デアルガ、近頃土井美夫氏ガ薩摩ノ海上ニアル甑島デ採集サレタノヲ送ラレテ知ツタノト、近年數年ニ亙ツテ大隅志布志灣頭ノ枇榔島デ枇榔ノ生態學的研究ヲ續ケテ居ラレル東大理學部植物學教室ノ岡現次郎氏カラ同島デノ採品ノ一部ヲ見セテモラツタ中ニ一本 sterile デハアツタガ確カニ本種ガアツタノデコヽニ追加シタ。以上デ見ルト黑潮ニ依ル暖地ニハ夫々分布シテ居ルノガワカル。因ニ本種ハあこうねつたいらんニ似テ居ルガ花ハ小サイ上ニ殆ンド距ヲ有セズ、花穗ハムシロ纖形狀ニ近イコトヤ苞ガ短潤デアル點デ明瞭ナ區別ガ出來ル。コノ屬ノモノハタトヒ sterile デモ莖上ニ鞘狀葉ノミガ着キ一見葉ガツイテ居ルト見エルノハ實ハ前記鞘狀葉ノ葉腋カラ出タ短枝上ノ葉デアルトイフ特異ノ形態デ他屬カラ判然ト判ル。

（前川文夫）

○てがたすみれ本邦ニ產ス

Viola dactyloides Roemer et Schultes ハ淡紫花ヲ開キ葉ハ掌狀ニ五全裂シタすみれデアル。葉柄ニハさくらすみれ程デハナイガヤヽ長イ毛ヲ多數ニ生ジ、又葉身ハ葉面脈上ニ毛ガアル。元來 Amur カラ滿洲吉林省ヘカケテ分布スルモノデアルガ、今回北鮮咸北ノ北部 800-1000 m. 級ノ山地デ採集ヲ見タ。分布カラ云ツテモ當然デアルガ邦產トシテ新シイカラコヽニ書イテ置ク。猶コレハ山本肇氏カラ送ラレタ標本ニヨツテ判ツタモノデ、氏ノ友人ガ採集セシ由デアル。和名ハ北川政夫君ニ依ツタ。

（前川文夫）

Viola dactyloides Roemer et Schultes, Syst. Veget. V: 351 (1819)—Becker in Fedtschenko, Fl. Asiatic Rossa VIII: 79 f. 18 (1915)

Nom. Jap. *Tegata-Sumire* (ex M. Kitagawa)

Hab. Corea, prov. Kanhoku, in monte boreale. (Nova ad floram Japonicam.)

(F. Maekawa)